
F C L

鉄火たかつ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

FC

【Zマーク】

Z8070Z

【作者名】

鉄火たかつ

【あらすじ】

2018年、夏季。日本のとある田舎町に住む星一郎は補修を受けながらもそれなりの夏休みを満喫していた。そんな星一郎の目の前に突然隕石が墜落してくる

1 ファーストコンタクト

「先生！富川先生が競技水着でいます！」

星一郎は補修を速効終わらせたい為、目の前の田中先生に時間稼ぎのセリフを放つ。

「なにい！それを早く言え達川！」

田中先生は慌てた様子で窓際まで駆け寄り、身を乗り出した。

「げっ！あればオカマの氷川先生じゃねえか！こいつに気づいてワインクしてるし！」

「よかつたですね田中先生。相思相愛で・・・・」

「可哀そつな物を見る田でこっち見んじゃねえ！俺はそんな趣味はねえよ」

「あれ・・・二人の仲は学校公認でわ」

「達川・・・これ以上補修増やしてほしいか？」

「いえ。田中先生は健全な人間です」

星一郎は視線を机上に戻した。とりあえず田中先生をからかうのをおもしろいが、補修はおもしろくない。

補修を受ける原因は自分にあるのだが、単に一学期の勉学を疎かに

しただけだ。

もう季節は夏。夏休みを迎えてもう一週間が過ぎ去りつつしている。外では蝉の鳴き声が聞こえ、部活動に励む生徒達の声が聞こえてくる。

「田中先生」

「何だ達川？」

「水泳の補修とかないんですか？」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8070z/>

FCL

2011年12月25日20時53分発行